

ひきだし

そうだったのか!

藤野曜子さん 図書館支部

図書館勤務をしていると、時々そうだったのか!と思う事由に出会うことがある。

遅れて閲覧されてきた図書新聞12月12日付けの小さなコラム、山本義隆氏の上梓について書かれていた。

『(1960年代後半、山本氏達は)日本物理学会の米軍資金導入を批判し、今後一切内外の軍隊からの援助・協力関係を持たないとする、学会決議を勝ち取った。』(図書新聞 伊達政保 カルチャー・オンザ・ウェッジ2015年12月12日付け)

とあったのである。そうだったのか!

おりしも職員組合では、軍事関係予算について大学に提言しようとしていた時である。

山本義隆氏とは、1960年代を学生として

たかもしれない。無事購入され本館に收藏されたその本、すぐに貸し出しされていく。私はまだ読めずにいる。



各支部・専門部の報告コーナーです

病院支部

労働局へ相談に行ってきました

病棟看護師の人数が71の診療報酬に不足する理由から年休取得が制限され、年度当初から年休20日取得に足りる看護師を確保できている現状に関して

1月28日に労働局に相談に行ってきました。

年休は労働日に指定して取得するものと改めて勉強できました。夜勤交代制勤務の病棟看護師が、年休を計画的に取得することの困難を重ねて知る機会となりました。

今後は、計画的年休の取得について具体的内容に詰めていきたいと思えます。

工学研究科支部

労働契約法の懇談会を開催しました

3月3日改正労働契約法にかかわる昼食懇談会を開催しました。工学部図書分館にも声をかけ、未組合員7名を含む、18名の参加がありました。

最初に2月の部局長連絡会議の資料を中心に現在の状況を書記局の小野寺さんから話してもらいました。

未組合員からは、「面談を本部で行うと

なると、研究室にいる秘書さんなどは正しく評価してくれるのだから「うか心配」と言う意見等が出たところで時間切れとなってしまいました。

女性部

女性部大会

3月23日女性部大会を行いました。

大会出席は初めてという2名の女性部員を含め、当日行われた職員・時間雇用職員の無期転換者の選考の説明会の内容と、それぞれの職場の実態が話題となりました。

女性部が長年要求してきた産前休暇8週間実現を初め、組合の果たす役割を再確認した大会となりました。



紙面では憲法問題が多く、消費税とともに今年の大きな問題です。

(編下)

編集後記

コア編集委員会が発足して30年近くになります。この間、春夏秋冬に発行する季刊誌として、毎年欠かさず4号を発行してきました。

- 4/22 (金) 退職者の会総会
- 4/27-28 (木) 演劇「青い空—憲法9条は世界の宝」(戦災復興記念館)
- 5/ 1 (日) メーカー宮城県集会
- 5/ 3 (火) 憲法を守り生かす県民集会 (国際センター)
- 6/12 (日) 宮城県母親大会
- 7/10 (日) 演劇「仙台空襲一孫たちへの伝言~VII」
- 7/23 (土) 2016年度東北大学職員組合定期大会予定

これからの日程